

使用教科書	「新しい社会 歴史」東京書籍 「中学生の地理」帝国書院	学年	2	年	年間授業時数	105	時間
使用副教材など	「中学校社会科地図」帝国書院						

年間指導計画 及び 評価方法

1学期

月	時数	単元名 (題材)	節 (学習のまとめ)	評価 (B) 規準			
				知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5	16 時間	第3章 中世の日本	第1節 武士の政権の誕生 第2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<p>○鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>○南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>○武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	
6	12 時間	第4章 近世の日本	第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<p>○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。</p>	<p>○交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○世界の動きと統一事業について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	
7	9 時間	第4章 近世の日本	第2節 江戸幕府の成立と対外政策	<p>○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</p>	<p>○統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○江戸幕府の成立と対外関係について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	
1学期の評価場面・方法		知識 技能	定期考査 単元テスト	思考 判断 表現	定期考査 単元テスト ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート ワークシート 授業での取り組み

2学期

月	時数	単元名 (題材)	節 (学習のまとめ)	評価 (B) 規準		
				知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
9 月	12 時間	第4章 近世の日本	第3節 産業の発達と幕府政治の動き	<p>○産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりなどを基に, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解している。</p> <p>○社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを基に, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</p>	<p>○産業の発達と文化の担い手の変化, 社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 産業の発達と町人文化, 幕府政治の展開について, 近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>	<p>○産業の発達と町人文化, 幕府政治の展開について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
10 月 11	21 時間	第5章 開国と近代日本の歩み	第1節 欧米における近代化の進展 第2節 欧米の進出と日本の開国 第3節 明治維新	<p>○欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</p> <p>○開国とその影響, 富国強兵・殖産興業政策, 文明開化の風潮などを基に, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて, 人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p> <p>○自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 日清・日露戦争, 条約改正などを基に, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。</p> <p>○我が国の産業革命, この時期の国民生活の変化, 学問・教育・科学・芸術の発展などを基に, 我が国で近代産業が発展し, 近代文化が形成されたことを理解している。</p>	<p>○工業化の進展と政治や社会の変化, 明治政府の諸改革の目的, 議会政治や外交の展開, 近代化がもたらした文化への影響などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き, 明治維新と近代国家の形成, 議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>○近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>	<p>○近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
12 月	10 時間	第3編 日本のさまざまな地域	第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色と地域区分	<p>○地図や景観写真, 統計資料などを的確に読み取る技能や, 地域調査を行う際の視点, 方法を理解している。</p> <p>○日本の地域的特色を, 自然環境や人口, 資源・エネルギー, 産業, 交通・通信の視点から, 写真, 図版, 地図, 雨温図など, さまざまな資料を適切に選択して読み取り, 理解している。</p>	<p>○対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ, それらを多面的・多角的に調査, 考察している。</p> <p>○日本の自然環境や人口, 資源・エネルギー, 産業, 交通・通信などの地域的特色が, どのように変化し, どのような課題を抱えているのか, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>	<p>○対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など, 身近な地域や生活との関わりに着目して, 日本の地域的な課題について, 主体的に追究しようとしている。</p>

2学期の 評価場面・方法	知識 技能	定期考査 単元テスト	思考 判断 表現	定期考査 単元テスト ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート ワークシート 授業での取り組み
-----------------	-------	------------	----------	-------------------	---------------	-------------------------

3学期

月	時数	単元名 (題材)	節 (学習のまとめ)	評価 (B) 規準		
				知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
1 月	7 時間	第3章 日本の諸地域	第1節 九州地方 第2節 中国・四国地方	<p>○九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、それらの課題を理解している。</p> <p>○地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化や課題について理解している。</p>	<p>○九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究しようとしている。</p>
2 月	8 時間	第3章 日本の諸地域	第3節 近畿地方 第4節 中部地方 第5節 関東地方	<p>○地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。</p> <p>○さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取ることができるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。</p> <p>○関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。</p>	<p>○自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。</p> <p>○産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究している。</p> <p>○関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。</p>
3 月	10 時間	第3章 日本の諸地域	第6節 東北地方 第7節 北海道地方	<p>○地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。</p> <p>○北海道地方の冷涼な気候の特色を理解するとともに、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。</p>	<p>○東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。</p> <p>○冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。</p>	<p>○東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究している。</p> <p>○北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を、主体的に粘り強く追究している。</p>

3学期の 評価場面・方法	知識 技能	定期考査 単元テスト	思考 判断 表現	定期考査 単元テスト ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート ワークシート 授業での取り組み
-----------------	-------	------------	----------	-------------------	---------------	-------------------------